

Ⅲ ヒアリング調査からみた経営概況（企業の声）

【現在の景況感】

- 「景気全体は横ばいだが、食品製造業はまずまずの状況」（食料品製造）
- 「格差が広がっていると感じる」（印刷業）
- 「部品の軽量化のためプラスチックの需要が増えている」（プラスチック製品）
- 「試作の話は多いが、製品化がされない」（金属製品）
- 「今の景気は普通であるが、停滞感がある」（電気機械器具）
- 「景気全体は良くなっていないが、自動車関係の引き合いは出てきている」（輸送用機械器具）
- 「前期よりは前向きになっている」（一般機械器具）
- 「下請けが忙しく、良くなっている気がする。悪くはない」（建設業）
- 「悪いとは言いたくないが、良くはない。世間的に明るいニュースがない」（百貨店）
- 「日常では節約できるところは節約している感じがするが、買い渋るような感じではない」（スーパー）
- 「良くなってきたがこれから冬に向けて下がっていくのではないか」（商店街）
- 「経常利益が確保されているので、良い方の普通」（情報サービス業）

【売上・採算】

- 「売上げ増加と主要な原材料価格の低下により採算改善」（食料品製造）
- 「建機関係の仕事が入ったが、今後これが継続するかは現時点では不明」（銑鉄鋳物）
- 「売上げは前年程度。メーカーもコスト意識が高くなっている」（金属製品）
- 「前期から引き続き受注している仕事は微増しているが、新たな仕事は未だ評価段階にあるので、売上げに貢献してきていない」（電気機械器具）
- 「追加生産の依頼が複数あり、売上げの実感として11月から変化がみられる」（輸送用機械器具）
- 「受注高は1割程度増加している」（一般機械器具）
- 「人が足りないため、高くても派遣などを使わなければならなくなる」（建設業）
- 「天候が安定している中で気温が下がったので、衣料や住居・余暇関連商品が復調基調にある」（スーパー）
- 「従業員数が減った状態が続いており、売上げも連動して減少」（情報サービス業）

【今後の見通し】

- 「原材料価格に影響を与える為替動向が気になる」（食料品製造）
- 「先が読みづらく不透明であり、不安に思う」（印刷業）
- 「医療機器の部品は品質基準が厳しいので国内調達が今後も続くと予想される」（プラスチック製品）
- 「先行きが不安であり、積極的な設備投資ができない」（金属製品）
- 「米国の経済政策が不透明であり、判断材料がない状態」（電気機械器具）
- 「米国の経済政策が自動車産業にどのような影響を与えるのかを不安視している」（輸送用機械器具）
- 「今後は海外、特にアメリカの状況次第」（一般機械器具）
- 「良くなってほしいとは思いますが、オリンピック需要などの好景気の波はまだ来ていない」（建設業）
- 「足元の商況は悪くないが、全体の景況の方向としては当面若干悪い」（百貨店）
- 「現在の節約の傾向は続くだろうが、多少は良くなるだろう」（スーパー）
- 「年間で1～2月は厳しい時期のため、来客は減ると見込んでいる」（商店街）
- 「米国の経済政策が日本にどのような影響を与えるかが不透明なので、どちらともいえない。不安がある状態」（情報サービス業）